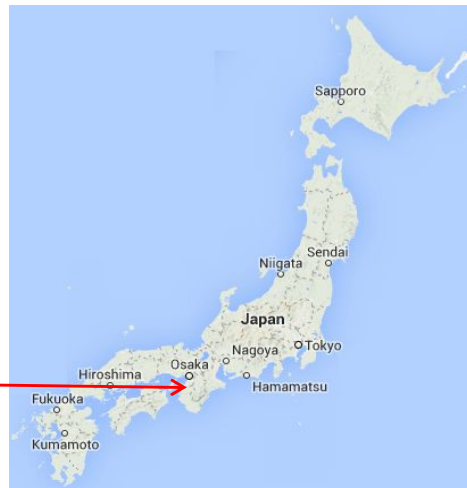


# 熊取町の魅力と町内の人々



## 熊取町について

熊取町は、日本の西部の大都市である大阪市から南に30 kmの内陸のベッドタウンで、東西5 km、南北8 km、総面積17 km<sup>2</sup>のハート形をした地形の町です。  
 (人口：44,000人、17,000世帯)  
 町の東南部には山麓が広がり、西北部は緩やかな平野で、温暖で雨量も少なく、快適で暮らしやすい気候風土です。



## 熊取町の主要観光スポット

### ・中家住宅

重要文化財「中家住宅」  
 中家は平安時代、後白河法皇が熊野詣での時に立ち寄られた由緒のある泉南地方の旧家です。中家住宅は入母屋造り茅葺きで南を正面とし、形式技法から江戸時代初期に建てられたと考えられています。建築面積は約450㎡で、近畿の民家においても稀にみる広さで、往時の中家の隆盛がしのべれます。



### < 内部 >



### ・煉瓦館

約90年前に建てられた煉瓦造りの綿布工場を、当時の姿を活かして、交流センターとして再構築しました。



### ・奥山雨山自然公園

約130ヘクタール(ha)の広大な敷地の森林公園です。特に永楽ダム周辺は桜の名所として年間10万人の人出で賑わっています。



## 熊取町の主要イベント

### ・だんじり祭り

10月には、五穀豊穡を祈願し、豊作に感謝するだんじり祭りが2日間に亘って行われます。この泉州地域では200年前から続いている伝統的な祭りで、昼は勇壮な曳き回し、夜は幻想的な提灯の山車が感動的です。



## 熊取町の農産業

### ・水ナス

皮が薄く、水分が多い。



### ・ふき

柔らかく、豊かな香りとはほろ苦さが特徴。



### ・玉ねぎ

水分が多く、甘みがあり、柔らかい。



### ・タオル

日本のタオル産業の発祥の地で、120年余の歴史があります。



## 熊取町の人々

熊取町で、観光に関連している方々の日常生活を紹介します。

- ・学生編：大阪観光大学RUSHの町内観光バス
- ・農業編：菜ごぼう
- ・地場産業編：タオル
- ・観光編：長池オアシス
- ・祭り編：だんじり祭り

